

## 観点別学習状況の評価と評定への総括について

### 1 観点別学習状況の評価の観点ごとの総括

#### (1) 単元における観点ごとの評価の総括 【事例：第3学年「せつ明書を作ろう」(全7時間)】

評価規準に照らし合わせ、三段階(a、b、c)で評価する。また、同時に補助簿等を作成して、児童の特記事項を記録する。

評価規準に対して a：十分に満足できると判断されるもの  
 b：おおむね満足できると判断されるもの  
 c：努力を要すると判断されるもの

単元の評価を観点ごとに総括する。

・それぞれの観点(上の例の場合「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」の三観点)において、評価の総括をする。

観点	国語への関心・意欲・態度				書く能力				言語についての知識・理解・技能			
	説明書を書くことへの意欲を高めている。	これから気を付けていくとよいことを発表し、書くことのめあてをもっている。	事柄の選択など分かりやすい説明について考えようとしている。	総括	大好きな理由をもとにして、料理名を考えている。	まとめや時間の経過により段落を区切り、続き方に注意して書いている。	仲間の説明書のよいところや直した方がよいところを指し進んで指摘している。	総括	句読点を適切に打ち、段落の最初を一字下げている。	順序性に気をつけた接続語を適切に使っている。	総括	
児童氏名												
ア	a	a	a	A	b	a	a	A	b	b	b	B
イ	b	b	a	B	b	c	b	B	b	b	b	B
ウ	c	c	b	C	c	c	b	C	c	c	c	C

#### (2) 学期末における観点ごとの評価の総括

単元ごとに総括した観点別学習状況の評価を5観点の窓でそれぞれ一覧表にする。各観点ごとに学期の総括を行う。

観点	国語への関心・意欲・態度					話す・聞く能力		書く能力			読む能力		言語についての知識・理解・技能						
	みんな子どもだった	ちいちゃんのかげおくり	動物とくらす	せつ明書を作ろう	話し合おう!	学期の総括	みんな子どもだった	話し合おう!	学期の総括	動物とくらす	せつ明書を作ろう	学期の総括	ちいちゃんのかげおくり	学期の総括	みんな子どもだった	ちいちゃんのかげおくり	動物とくらす	せつ明書を作ろう	話し合おう!
児童氏名																			
ア	A	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	B	B	A	A
イ	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B
ウ	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C

## 2 観点別学習状況の評価から評定への総括

### (1) 基本的な考え方

評定は、学習指導要領に示す国語科の目標に照らして学習の実現状況を総合的に評価するものである。観点別学習状況の評価は、評定を行う場合において基本的な要素であり、観点別学習状況の評価と評定は以下のようになる。

観点別学習状況の評価		評定	
十分満足できる	A	十分満足できる	3
おおむね満足できる	B	おおむね満足できる	2
努力を要する	C	努力を要する	1



関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語	評定
A	A	A	A	A	3
		.....			
B	B	B	B	B	2
		.....			
C	C	C	C	C	1

同じ「A」「B」「C」という評価結果についても、それぞれの評価結果が示す実現状況には幅があり、日常観察や各単元の評価の積み上げから総合的に判断する。

### (2) 学年末における観点ごとの評価の総括と評定への総括

氏名	観点	学期の総括			観点別の総括	評定
		1学期	2学期	3学期		
児童 工	国語への関心・意欲・態度	A	A	A	A	2
	国語への関心・意欲・態度	A	A	A	A	
	話す・聞く能力	B	B	A	B	
	書く納力	A	B	B	B	
	読む能力	A	B	B	B	
	言語についての知識・理解・技能	A	A	A	A	
児童 才	国語への関心・意欲・態度	C	C	C	C	1
	話す・聞く能力	C	C	B	C	
	書く納力	C	C	C	C	
	読む能力	B	C	C	C	
	言語についての知識・理解・技能	C	C	C	C	